

2025年8月14日  
株式会社 電通グループ  
代表執行役 社長 グローバル CEO 五十嵐 博  
(東証プライム市場 証券コード：4324)

## 2025年度通期連結業績予想の修正および 剰余金の配当（中間配当の決定および期末配当予想の修正）に関するお知らせ

株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表執行役 社長 グローバル CEO：五十嵐 博、資本金：746億981万円）は、本日開催の取締役会において、2025年2月14日に公表した2025年度通期（2025年1月1日～12月31日）の連結業績予想の修正および2025年度の剰余金の配当（中間配当の決定および期末配当予想の修正）について決定いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

### (1) 2025年度通期連結業績予想の修正（IFRS基準、2025年1月1日～12月31日）

(△はマイナスまたは減少)

	今回修正 予想(A)	前回(2月)発表 予想(B)	増減額 (A-B)	増減率 (%)	(ご参考)前期実績 (2024年1-12月)
収益(百万円)	1,433,200	1,494,000	△60,800	△4.1	1,410,961
売上総利益(百万円)	1,180,100	1,215,000	△34,900	△2.9	1,194,070
調整後営業利益 <sup>※1</sup> (百万円)	141,600	146,000	△4,400	△3.0	176,233
オペレーティング・ マージン	12.0%	12.0%	—		14.8%
調整後当期利益 (親会社の所有者に帰属) <sup>※2</sup> (百万円)	63,000	71,000	△8,000	△11.3	92,936
基本的1株当たり 調整後当期利益(円)	242.70	273.53			355.24
営業利益(百万円)	△3,500	66,000	△69,500	—	△124,992
当期利益(親会社の所有者に帰属) (百万円)	△75,400	10,000	△85,400	—	△192,172
基本的1株当たり 当期利益(円)	△290.47	38.53			△734.56

#### 為替換算レート

	今回修正 予想(A)	前回(2月)発表 予想(B)	増減額 (A-B)	増減率 (%)	(ご参考)前期実績 (2024年1-12月)
1USD	148.1円	156.5円	△8.3円	△5.3	151.4円
1GBP	193.4円	193.3円	0.1円	0.0	193.5円

注：※1～※2は、次頁を参照。

為替換算レートに関して、2025年度業績予想の今回修正予想は2025年1-7月平均、前回発表予想は2025年1月平均、2024年度実績は2024年1-12月平均を採用。

## (2) 2025 年度通期連結業績予想の修正背景

上期のオーガニック成長率が期初時点の想定をやや下回ったこと、下期は、日本事業は引き続きプラス成長を見込むものの、海外事業において、メディアについては新規獲得も好調で比較的安定的に推移していますが、CXM については厳しい事業環境が続き回復が遅れており、さらにクリエイティブでも既存クライアントの案件失注や予算縮小などの厳しい環境が継続しています。またこれに加えて、不透明なマクロ環境の継続が想定されることから、通期のオーガニック成長率を「約 1%」から「約 0%」に下方修正します。なお、日本事業は、通期で「約 3%」の見通しを維持しますが、海外事業はこれまでプラス成長への転換を見込んでいましたが、今回の修正では、「約 -2%」に引き下げます。

なお、上期のオペレーティング・マージンが高い水準にあること、また事業環境に柔軟に対応したコストコントロールの効果に加えて経営基盤の再構築の効果も出始めていることから、オペレーティング・マージンについては引き続き期初に掲げた「約 12.0%」を目指します。

また、第 2 四半期における、のれんの減損損失 860 億円等を反映し、制度会計上の営業損益を 660 億円の営業利益から 35 億円の営業損失に、親会社に帰属する当期損益を 100 億円の当期利益から 754 億円の当期損失にそれぞれ下方修正します。

## (3) 剰余金の配当（中間配当の決定および期末配当予想の修正）の決定

### 2025 年度中間配当の決定および期末配当予想の修正（IFRS 基準、2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

	2025 年度（今回予想）			2025 年度（前回発表予想）		
	中間配当	期末配当 （予想）	年間 （予想）	中間配当 （予想）	期末配当 （予想）	年間 （予想）
1 株当たり配当金	0 円	未定	未定	69.75 円	69.75 円	139.50 円
配当性向*			未定			51.0%

（ご参考）2024 年度実績：中間配当 69.75 円、期末配当 69.75 円、年間 139.50 円。配当性向 39.3%。

※2024 年度配当実績と、2025 年度の配当予想は、基本的 1 株当たり調整後当期利益と 1 株当たり年間配当金で算出。

### 2025 年度中間配当の決定および期末配当予想の修正について

2025 年度第 2 四半期の当社個別決算（日本基準）において、当社子会社である Dentsu International Limited の株式について評価を行った結果、帳簿価額に対して実質価額が著しく低下したため、特別損失として「関係会社株式評価損」1,681 億円を計上しました。

本評価損の計上により、当社の個別財務諸表における利益剰余金が減少したことを受け、誠に遺憾ながら、2025 年度 12 月期の中間配当は見送りとし、期末配当についても現時点においては未定へ修正しました。未定とした期末配当については、事業からの利益に加え、従来より進めている資産売却等の進捗を踏まえ、さらに中期的な経営の視点から今後のキャピタルアロケーションを考慮した適切な水準を検討の上、決定し次第公表します。2026 年度以降、できるだけ早期に安定した配当を実現できるよう努めます。

以上

- ※1. 「調整後営業利益」は、営業利益から、『買収行為に関連する損益』および『一時的要因』を排除した、恒常的な事業の業績を測る利益指標。『買収行為に関連する損益』：買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用、完全子会社化に伴い発行した株式報酬費用。『一時的要因』：構造改革費用、減損、固定資産の売却損益、割増退職金など。
- ※2. 「親会社の所有者に帰属する調整後当期利益」は、当期利益（親会社所有者帰属分）から、営業利益に係る調整項目、条件付対価に係る公正価値変動額（アーンアウト債務再評価損益）・株式買取債務に係る再測定額（買収関連プットオプション再評価損益）、これらに係る税金相当・非支配持分損益相当などを排除した、親会社所有者に帰属する恒常的な損益を測る指標。

**【リリースに関する問い合わせ先】**

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、杉浦

Email : [group-cc@dentsu.com](mailto:group-cc@dentsu.com)